

令和6年度RESAS活用・現状分析支援事業 ～福島県南会津町～

2025年3月

「共感」・「協奏」・「変革」

とものつくる東北。

はじめに

RESAS活用について

地域が抱える社会課題の解決を効果的・効率的に推進するためには、地域経済に関するデータを活用してエビデンスに基づいて政策を企画立案する取組（EBPM）が重要です。

データの活用促進に向けて、内閣府・経済産業省では、地域経済に関連する様々なビッグデータを「見える化」する「地域経済分析システム（以下「RESAS/リーサス」）」の運用を2015年4月から開始しております。

東北経済産業局では、東北地域の地方公共団体や商工団体・民間企業、金融機関、教育機関などにおけるデータ利活用を推進するため、RESAS普及活用支援調査員を配置して勉強会・研修会等に講師として派遣する出前講座等を実施しています。

当局の取り組みについて

RESASを活用したデータ分析による施策の立案や総合計画の策定等に向け、出前講座より一步踏み込んだ支援として、地方公共団体等の職員の皆様がデータによる地域の現状分析を行うための支援に取り組んでいます。

令和6年度は、次期総合戦略の策定および町内活性化につなげることを目的とし、福島県南会津町の職員による現状分析を実施しました。次頁以降で、その取組一例を紹介いたします。

【分析テーマ】

人口

地域経済循環・産業



【人口】

人口分析まとめシート

項目	内容（データからわかること）
◆人口構造や社会環境に関して	<ul style="list-style-type: none">・生産年齢人口の減少が継続する見通し。（P.5）・近い将来には老年人口も減少する見通し。（P.5）・年少人口は常に減少しており、2050年には1980年の約1割程度にまで減少する見通し。（P.5）
◆自然増減に関して	<ul style="list-style-type: none">・合計特殊出生率、出生数の低下が続いている。（P.8）・2030年までは男性人口よりも女性人口が多い見通しとなっているが、2035年以降は逆転し、男性人口の方が多くなる見通し。（P.8）・1994年以降、死亡数が出生数を上回る状態となっており、その差は年々拡大傾向にある。（P.7）
◆社会増減に関して	<ul style="list-style-type: none">・10代後半からの進学や就職に伴う転出が続いており、20代後半になると地元に戻ってくる傾向があるが、その数は減少傾向（P.9）・2023年は201人の転出超過となっている。・転出超過の内訳は、会津若松市、郡山市、福島市が上位を占めている。・本町の転入超過は0となっている。
◆新卒者就職・進学に関して	<ul style="list-style-type: none">・福島県としては、進学者の推移について、転出超過は続いているものの、改善傾向にある。（県単位のデータのため、本町が改善傾向に寄与できているかは特定不可）・福島県の就職での純流入は、年によって増加に転じたり減少に転じたりとばらつきがあり、直近の数値として2023年には若干の増加となった。

南会津町の人口推移

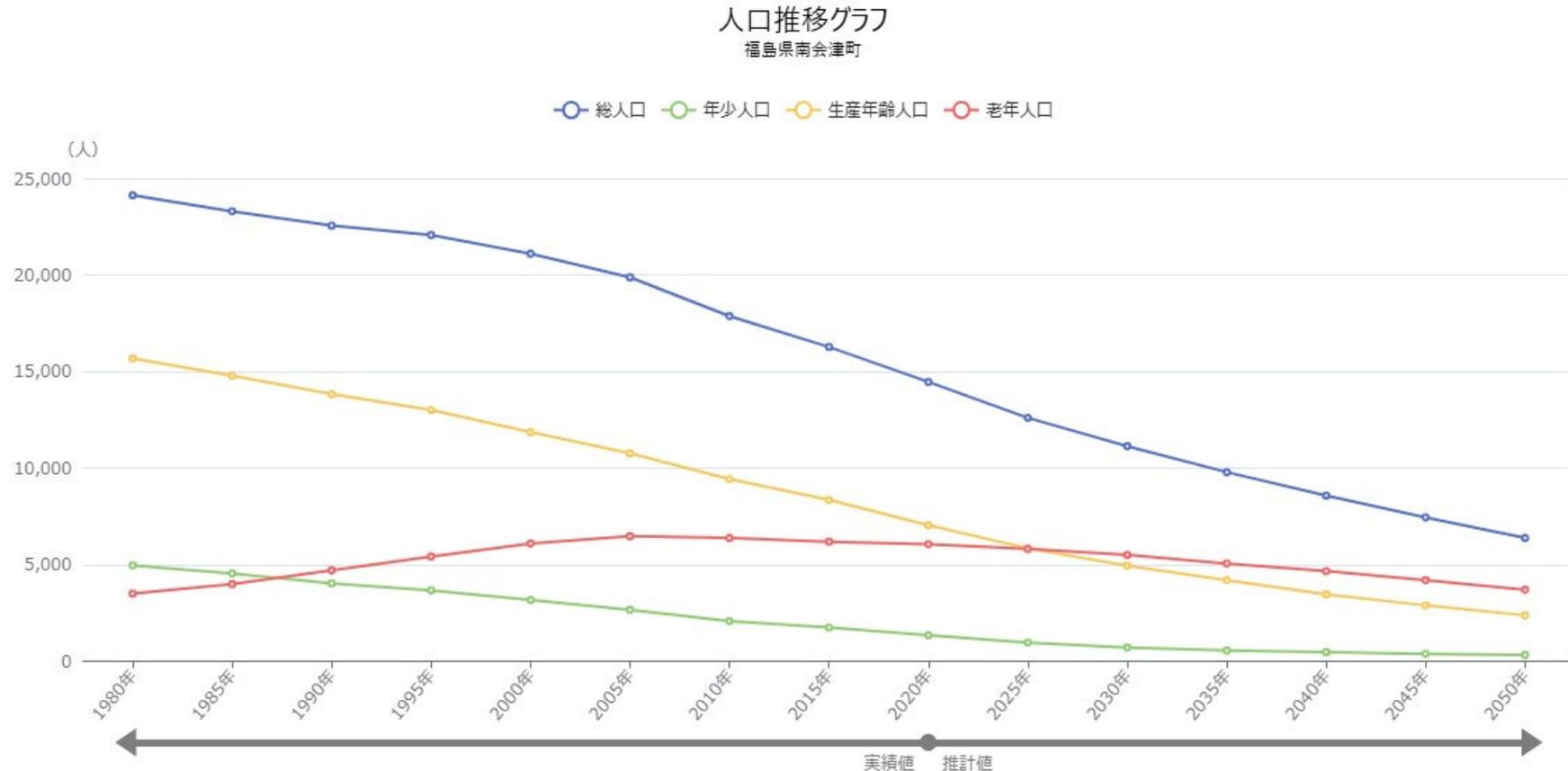
人口マップ→人口構成

人口推移を表示

← RESAS操作手順を書いています

POINT»

- ・2050年の南会津町の総人口は6,369人まで減少する。
- ・生産年齢人口は2050年に1980年の1/6以下、2020年の1/3程度にまで減少し、2025年を境に生産年齢人口が老年人口を下回る（逆転）。
- ・老年人口は2005年にピークを迎え、その後減少に転じる。また、年少人口は1980年以降、常に減少しており、2050年には総人口の約5%程度となる。



【出典】RESAS_総務省「国勢調査」、厚生労働省「人口動態調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

南会津町の人口推移

人口マップ→人口構成

人口ピラミッドを表示

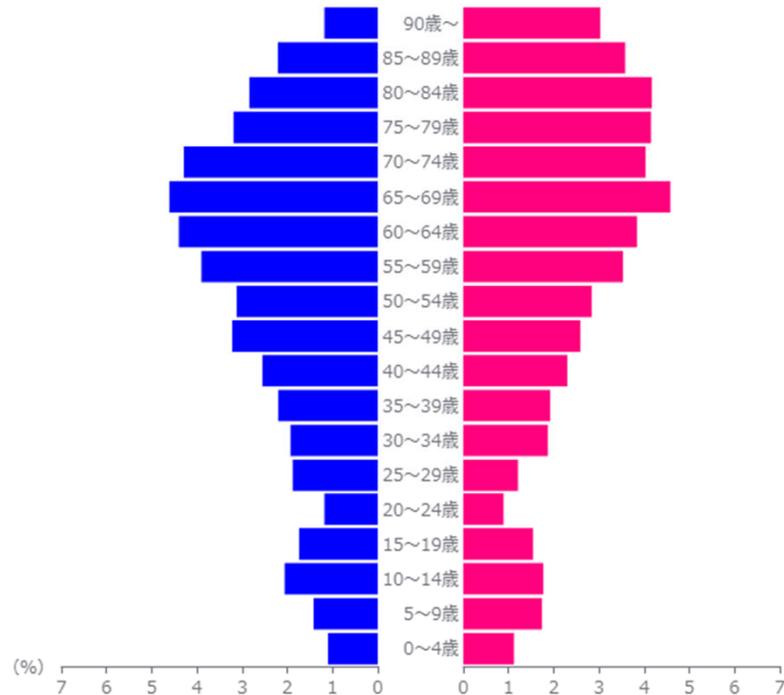
POINT»

- ・**老年人口**の割合が**増加**し、2050年には老年人口が**総人口の約6割**になる。
- ・2050年には**生産年齢人口が1/3程度**、**年少人口が1/4程度**になる。
- ・2020年は男性・女性ともに65～69歳の割合が最も多いが、2050年では男性は75～79歳、女性は90歳～の割合が最も多くなる。

人口ピラミッド
福島県南会津町

2020年

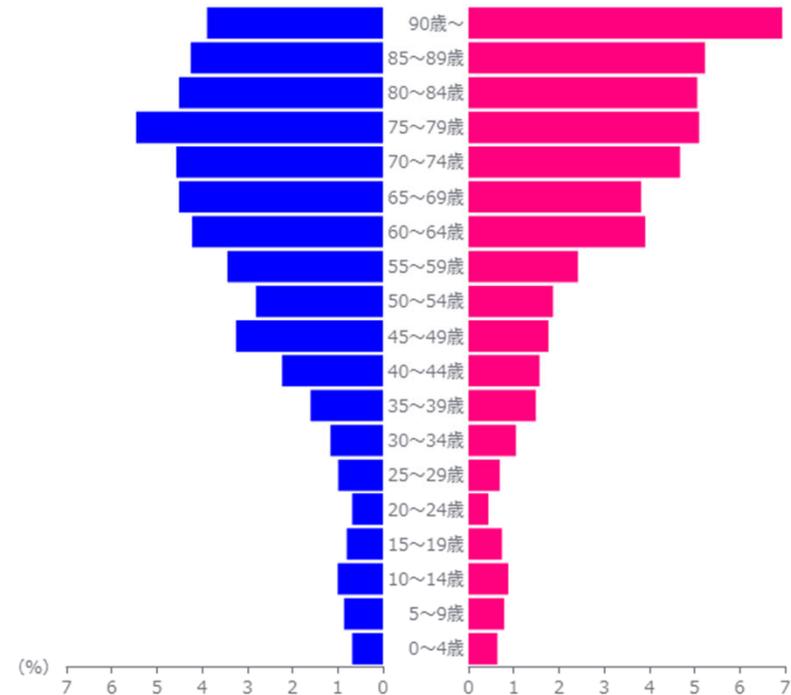
■ 男性 ■ 女性



老年人口（65歳以上）：6,048人（41.85%）
 生産年齢人口（15歳～64歳）：7,030人（48.65%）
 年少人口（0歳～14歳）：1,331人（9.21%）

2050年

■ 男性 ■ 女性



老年人口（65歳以上）：3,695人（58.02%）
 生産年齢人口（15歳～64歳）：2,365人（37.13%）
 年少人口（0歳～14歳）：309人（4.85%）

南会津町の人口動態

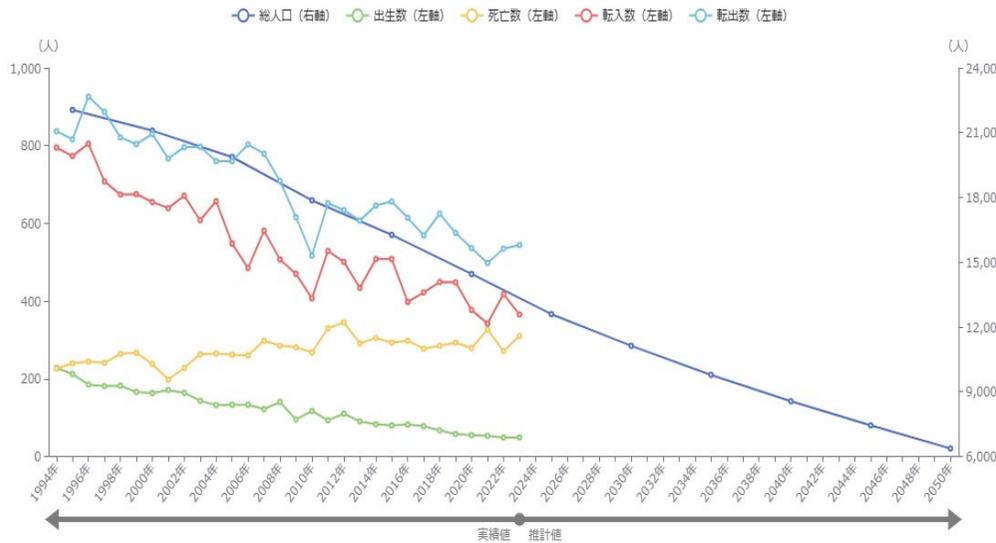
人口マップ→人口増減

出生数・死亡数/転入数・転出数の時系列分析を表示

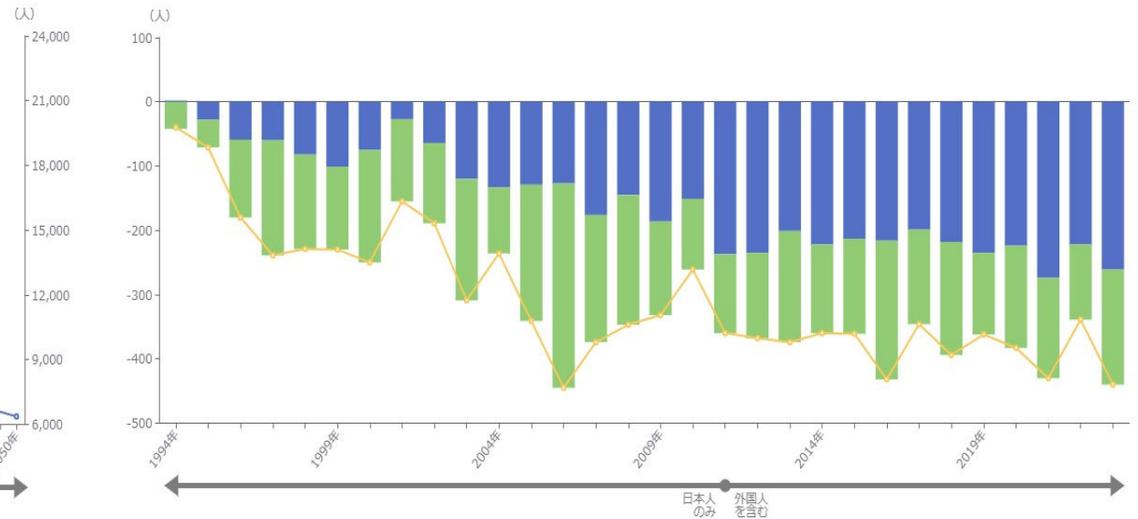
POINT»

- ・**自然増減**（出生数・死亡数）は、1995年以降、**継続して自然減**となっている。
- ・死亡数は増減はあるものの、年々増加傾向にある。
- ・**社会増減**（転入数・転出数）は、1994年以降、**継続して社会減**となっている。

出生数・死亡数 / 転入数・転出数
福島県南会津町



自然増減・社会増減の推移(折れ線)
福島県南会津町



【出典】(左) RESAS_総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」、総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」
(右) RESAS_総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」再編加工

南会津町の人口推移

人口マップ→人口の自然増減

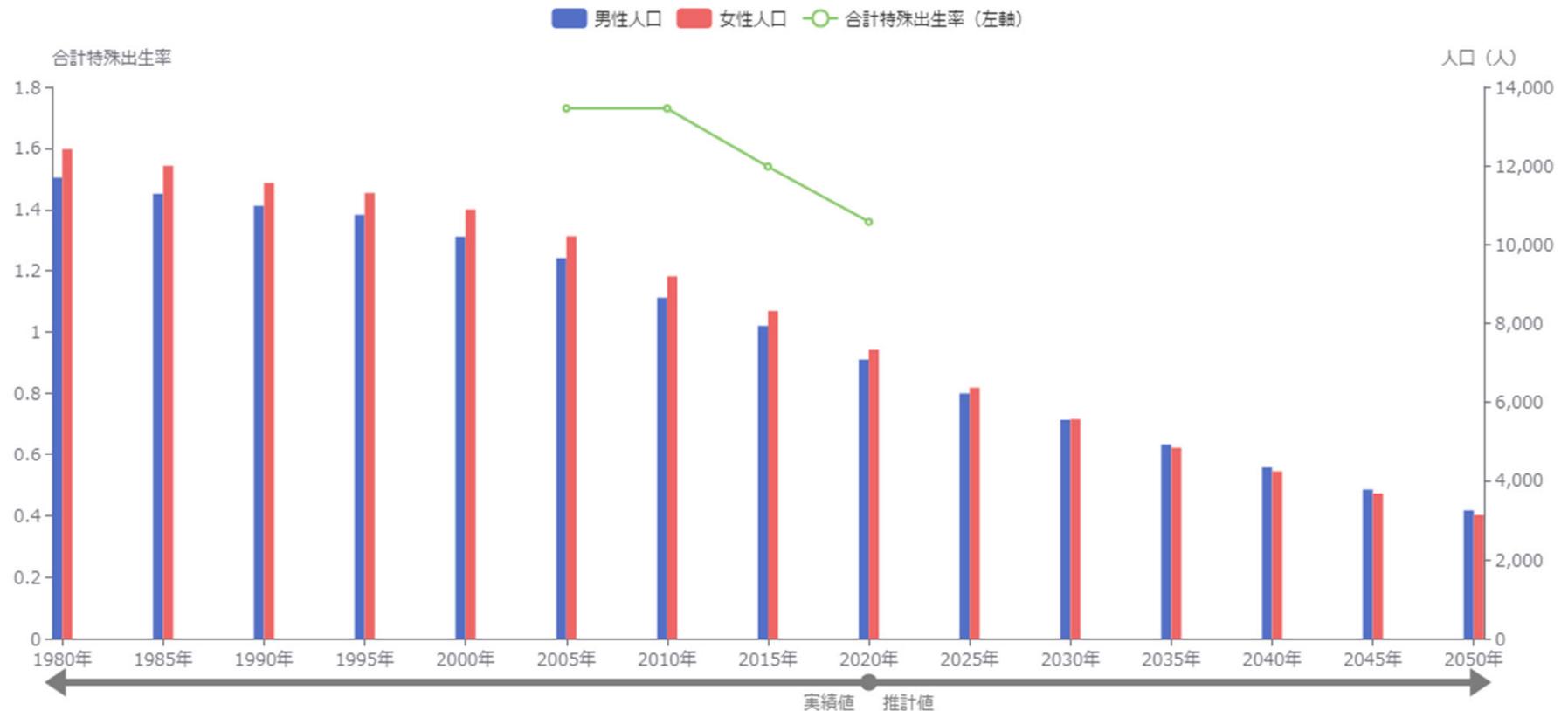
合計特殊出生率と人口推移を表示

POINT»

- ・合計特殊出生率は減少傾向にあり、2018-2022年では合計特殊出生率が1.36となっている。
- ・2030年までは女性人口の方が多かったが、**2035年以降は男性人口の方が多くなる見込み**。

合計特殊出生率と人口推移

福島県南会津町
なし～なし



【出典】RESAS_総務省「国勢調査」、厚生労働省「人口動態調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

南会津町の人口動態

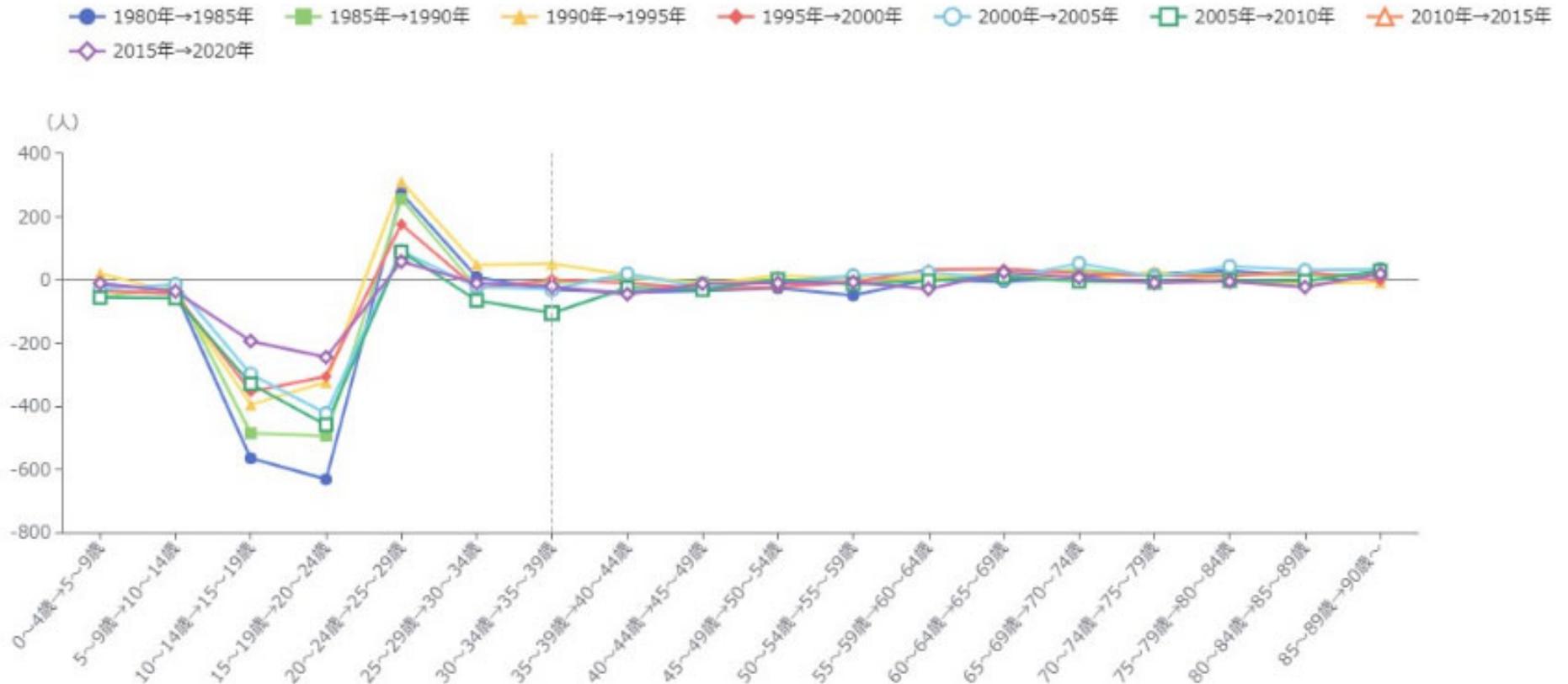
人口マップ→人口の社会増減

人口移動（グラフ分析）を表示

POINT»

- どの年も**若年層の移動（転出）**が多くみられ、**20代後半**で**地元に戻ってくる傾向**があるが**その数は減少傾向**となっている。
- 30代以降の移動はあまりみられない。

年齢階級別純移動数の時系列分析
福島県南会津町





【地域経済循環・産業】

地域経済循環・産業分析まとめシート

項目	内容（データからわかること）
◆地域経済循環マップに関して	<ul style="list-style-type: none"> ・地域経済循環率は2010年から多少の増減はあるものの、70%程度を維持している。（P.12） ・民間消費額の地域外からの流入は多少あるものの、民間投資額とその他支出は地域外への流出が見られ、特にその他支出の地域外流出が顕著に見られる。（P.12） ・所得からの支出より支出による生産への還流が下回っている。（P.12）
◆本町の産業の特性	<ul style="list-style-type: none"> ・「建設業」、「学術研究、専門・技術サービス業」、「医療、福祉」の労働生産性が高く、県の平均を上回っている。（P.14） ・「サービス業」、「生活関連サービス業」、「飲食サービス業」等、サービス関連業種の従業者と労働生産性から見る付加価値額が低くなっている。（P.14） ・サービス関連業種の付加価値額は低いが、従業者数が少ないわけではない。（P.14）
◆産業構造マップに関して	<ul style="list-style-type: none"> ・南会津町における生産構造別の売上高は「建設業」が最も高く、国および県の割合を大きく上回っている。（P.15） ・福島県の一人当たり賃金は、各年全国平均を大きく下回っており、近年は上昇傾向にあるものの、依然として全国平均を下回る現状にある。（P.16） ・南会津町の林産物販売金額は年々増加しており、2020年にはこれまでを大幅に上回った。 ・経営耕地面積は2010年から減少し、2020年には2010年の約85%となった。（P.17） ・経営体あたりの経営耕地面積は、国、県および南会津町全てにおいて増加しており、南会津町は2020年に県の平均を上回ったものの、全国平均は下回っている。

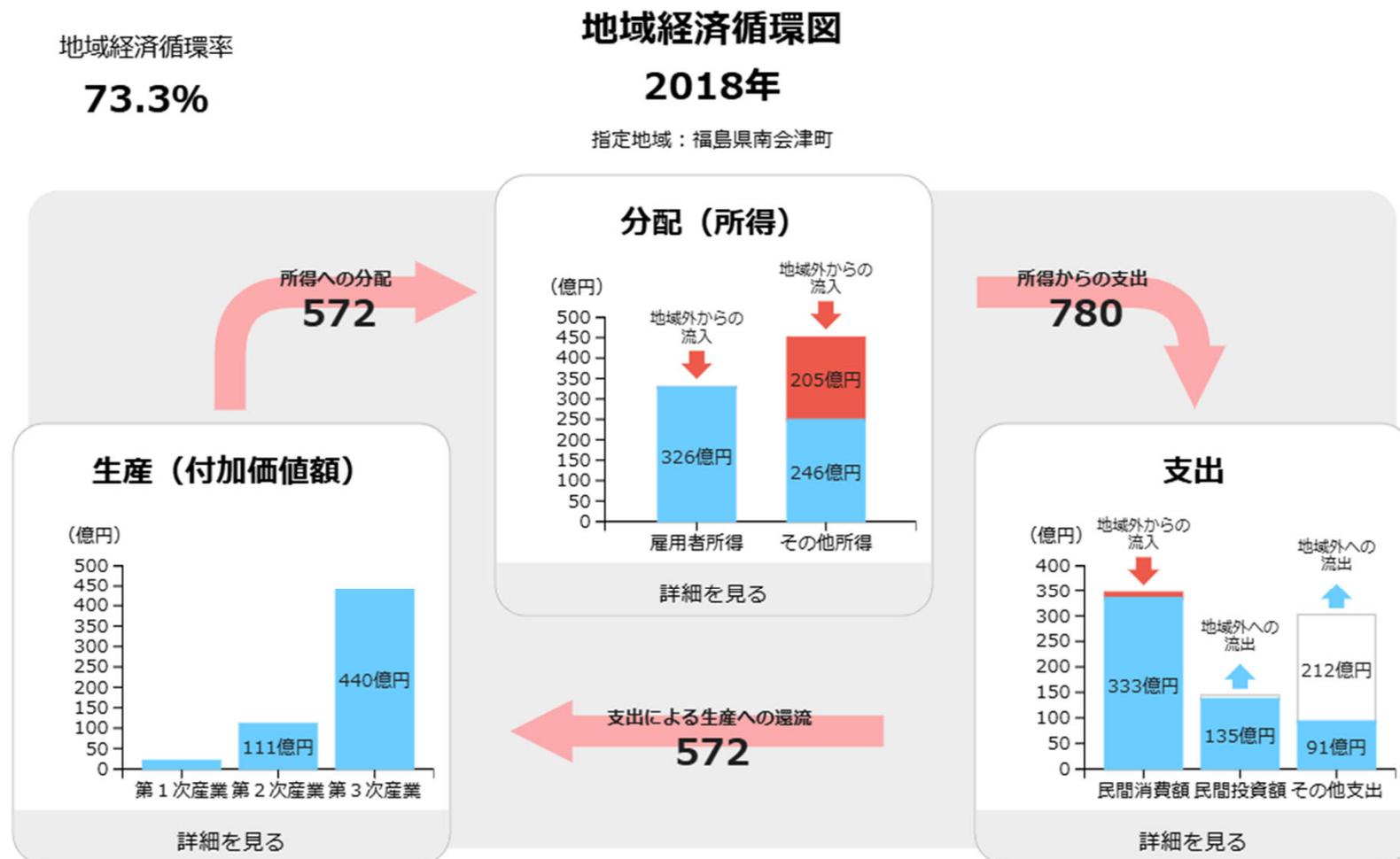
南会津町の地域経済循環

地域経済循環マップ→地域経済循環図

地域内のお金の流れを「生産」「分配」「支出」の三段階で表示

POINT»

- ・2018年の地域経済循環率は**73.3%**となっており、100%未満であることから、他地域への依存度が高いことが伺える
- ・分配（所得）の**その所得**のうち、**40%程度が地域外からの流入**となっている。
- ・支出の**その他支出**のうち、**70%程度が地域外への流出**となっている。



【出典】RESAS_環境省「地域産業関連表」、「地域経済計算」（株式会社価値総合研究所（日本政策投資銀行グループ）受託作成）

南会津町の産業構造

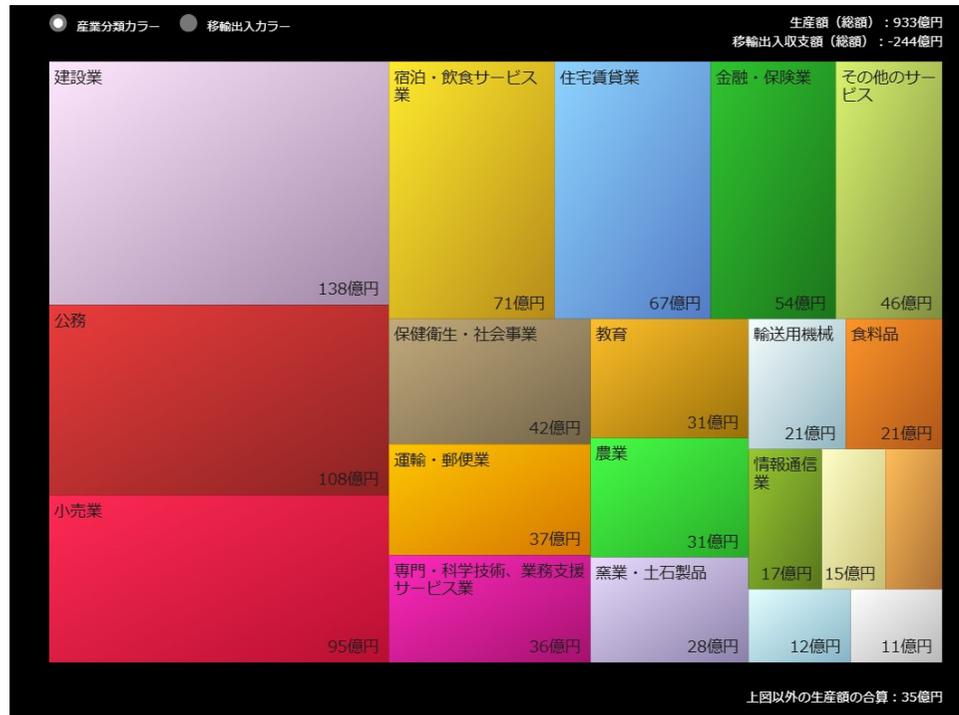
地域経済循環マップ→生産分析

地域内産業の構造を表示

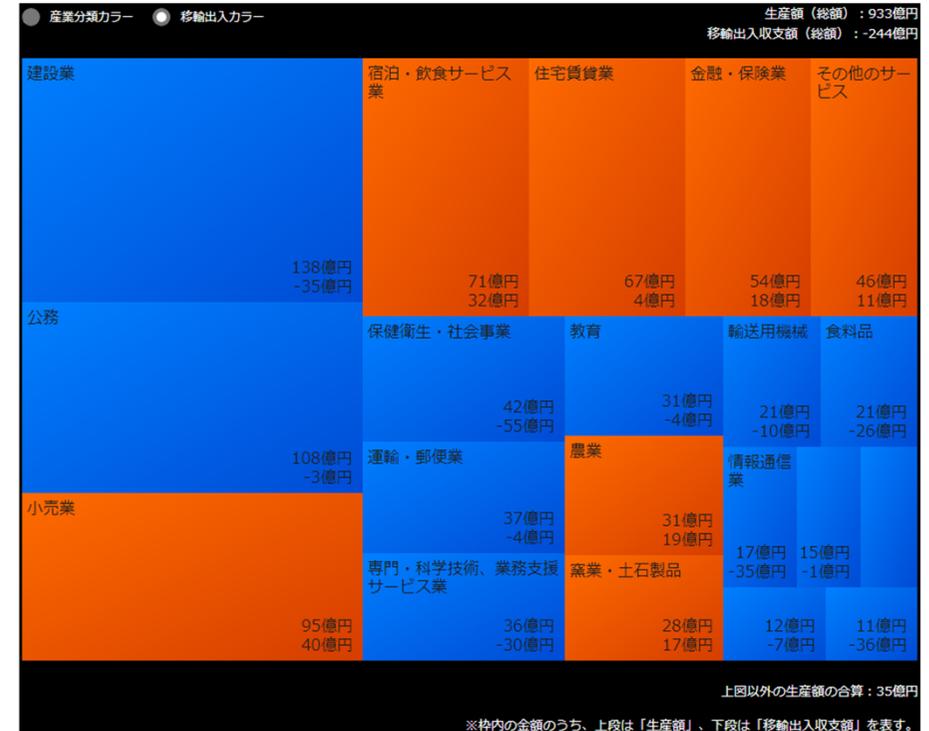
POINT»

- ・南会津町においての**生産額**は「**建設業**」が**最も高く**、次いで「公務」「小売業」となっている。**従業者と労働生産性から見る付加価値額**でも「**建設業**」は**最も高**くなっていた。
- ・「小売業」「宿泊・飲食サービス業」などは**地域外から**お金**流入**している。一方、「建設業」「公務」などは**地域外に**お金が**流出**している。

生産額（総額） 産業分類カラー(2018)



生産額（総額） 移輸出入カラー(2018)



赤：域外から外貨を多く稼いでいる産業

青：域外からの収入に依存している産業

南会津町の産業構造

産業構造マップ→全産業の構造（付加価値額の構造分析）

X軸に従業者数、Y軸に労働生産性で表される付加価値額（面積）を表示

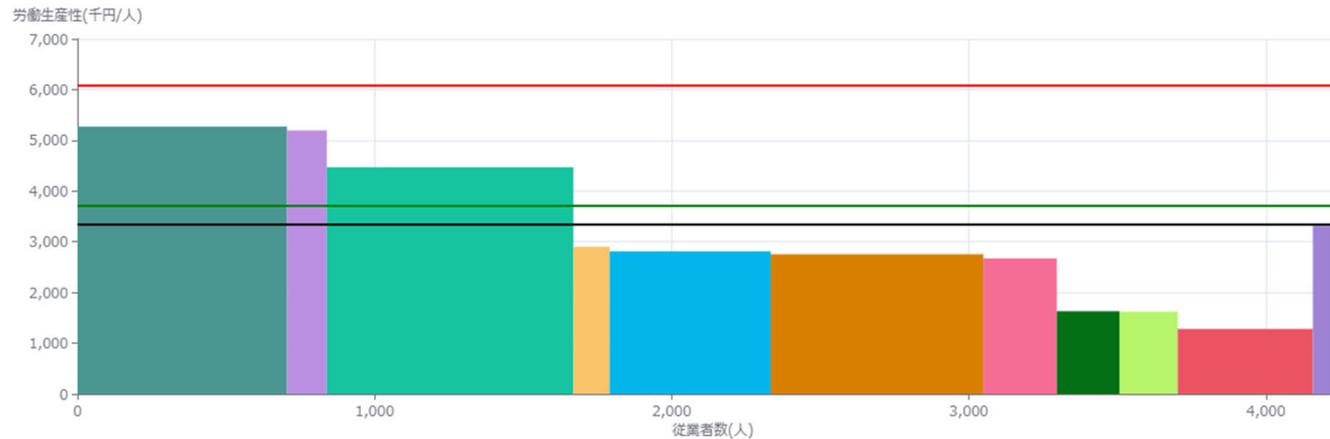
POINT»

・南会津町においての**従業者と労働生産性から見る付加価値額**は、**労働生産性順で見ると「建設業」が最も高く**、次いで「**学术研究、専門・技術サービス業**」、「**医療、福祉**」となっており、いずれも**福島県の平均を超えている**。

従業者と労働生産性から見る付加価値額

福島県南会津町
2021年

— 全国の平均労働生産性
— 福島県の平均労働生産性
— 指定地域の平均労働生産性



産業	労働生産性 (千円/人)	従業者数 (人)	付加価値額 (百万円)	産業	労働生産性 (千円/人)	従業者数 (人)	付加価値額 (百万円)
建設業	5,271	705	3,716	サービス業（他に分類されないもの）	2,672	247	660
学术研究、専門・技術サービス業	5,194	134	696	農林漁業	1,630	211	344
医療、福祉	4,469	830	3,709	生活関連サービス業、娯楽業	1,622	196	318
運輸業、郵便業	2,902	122	354	宿泊業、飲食サービス業	1,281	455	583
製造業	2,812	542	1,524	その他	3,312	77	255
卸売業、小売業	2,754	716	1,972				

「その他」に含まれる産業、データを秘匿・欠測している産業

産業	労働生産性 (千円/人)	従業者数 (人)	付加価値額 (百万円)
教育、学習支援業	5,500	26	143
不動産業、物品賃貸業	3,583	24	86
複合サービス事業	1,444	9	13
金融業、保険業	722	18	13
情報通信業	-	1	X
鉱業、採石業、砂利採取業	-	41	X

南会津町の産業構造

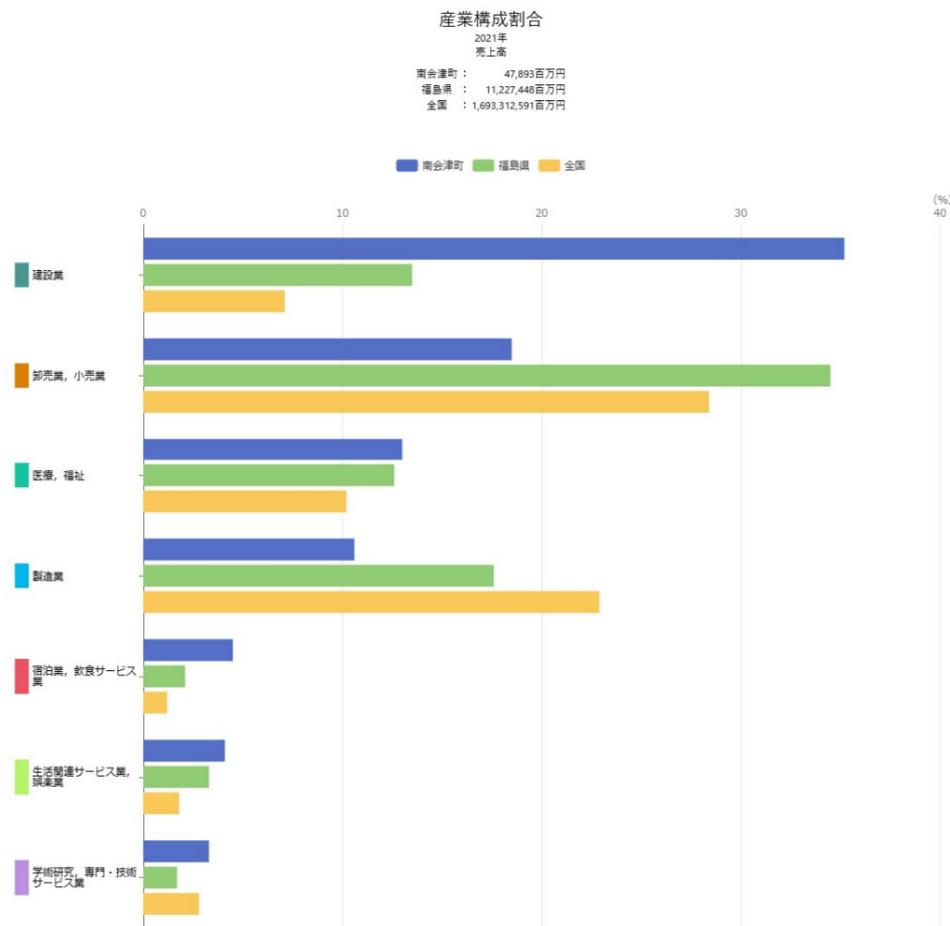
産業構造マップ→全産業の構造

売上高（企業単位）、従業者数（事業所単位）の産業構成割合を表示

POINT»

・南会津町においての生産構成割合別の売上高は「建設業」が最も高く、国および県の割合を大きく上回っている。また、「医療、福祉」、「宿泊業、飲食サービス業」の割合も同じく上回っている。従業者数もほぼ同業種で上回っている。

売上高_企業単位(2021)



従業者数_事務所単位(2021)



【出典】RESAS_総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」、総務省・経済産業省「経済構造実態調査（産業横断調査）」

福島県の産業構造

産業構造マップ→雇用

一人当たり賃金のグラフを表示

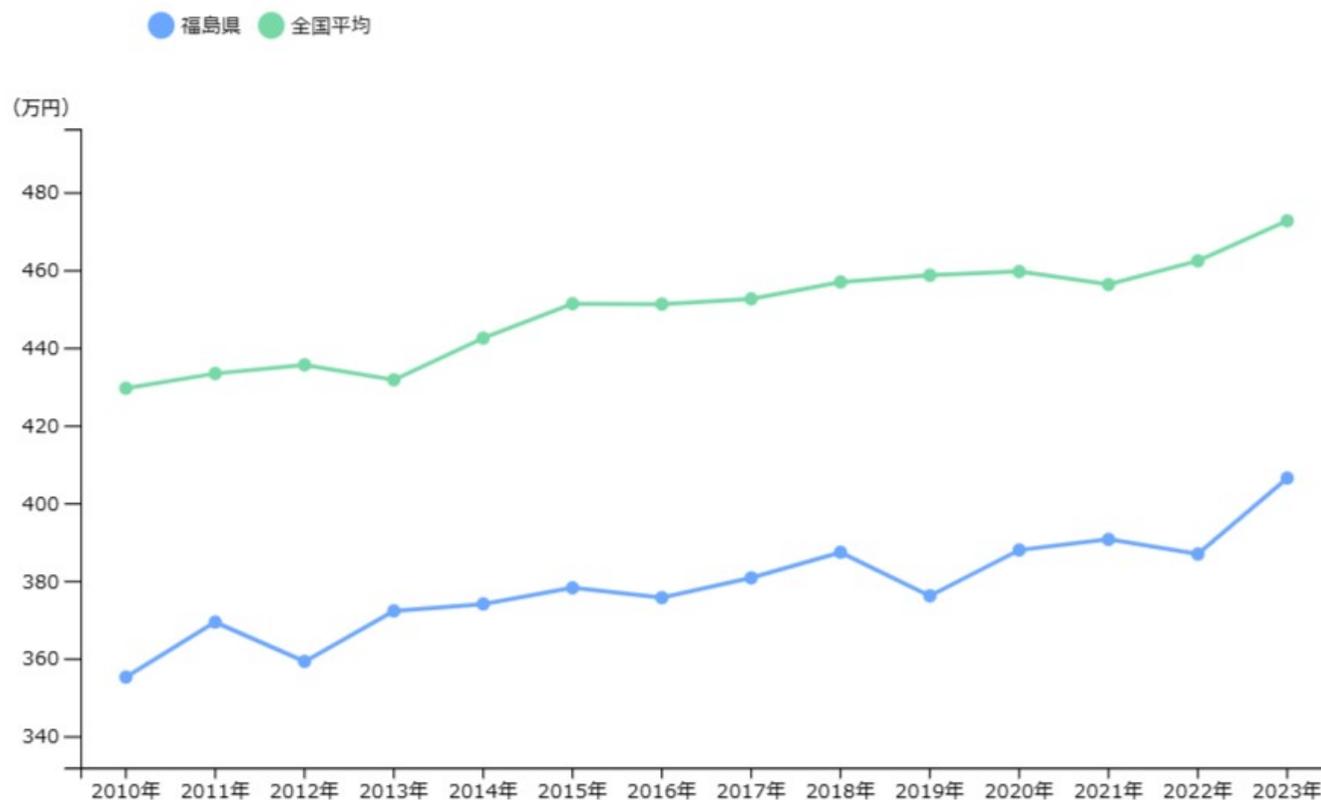
POINT»

・福島県の一人当たり賃金は、各年**全国平均**を大きく下回っており、近年は上昇傾向にあるものの、依然として**全国平均を下回る現状**にある。

一人当たり賃金

すべての大分類>すべての中分類

総数



南会津町の産業構造

産業構造マップ→農業

農地分析のグラフを表示

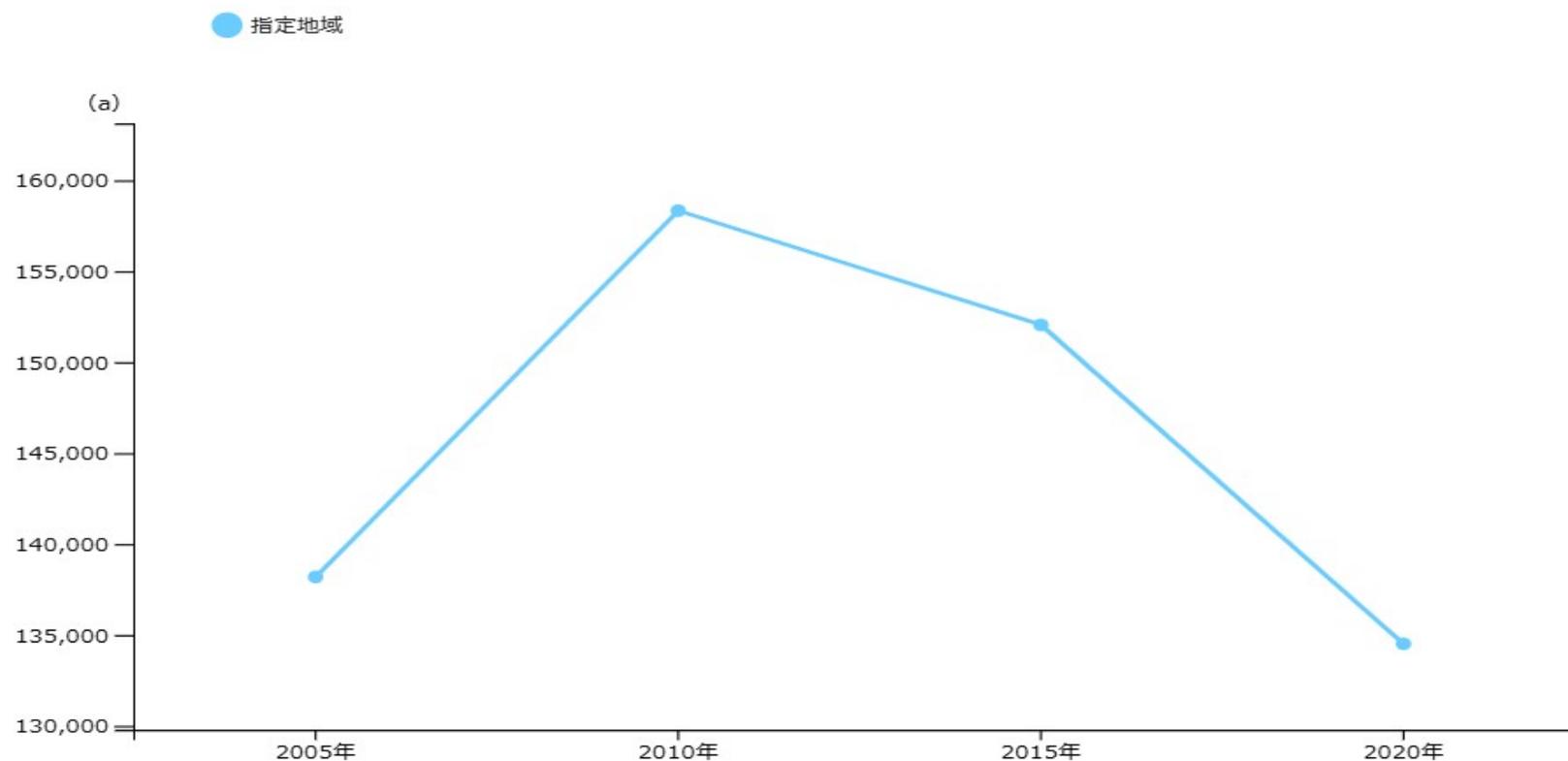
POINT»

・経営耕地面積は2010年に158,374aだったが、2020年には134,556aとなり、**2020年には2010年の約85%の面積となった。**

経営耕地面積（総面積）

指定地域：福島県南会津町

農地区分：すべての農地区分



(1) 本事業の流れ (取組内容)

【令和6年】

- 8月28日(水) 現状分析支援エントリー・キックオフミーティング (リモート)
- 10月8日(火) RESAS講座・現状分析の進め方に関する打合せ (南会津町役場)

【令和7年】

- 2月末 現状分析資料の提出
- 3月中 現状分析資料の確認・修正・仕上げ

(2) 職員の感想 (南会津町職員の声)

- 出前講座ならびに現状分析まできめ細やかなサポートをしていただき、操作に関する相談も対応していただいたことでRESASの理解を深めることができた。
- RESASの操作方法だけでなく、現状分析により理解を更に深めることができたため、今後の業務でもデータに基づく施策立案に大いに活用できると考えている。
- 出前講座およびRESASを活用することにより、データに基づく分析をするきっかけを形成することができたことに加え、データの分析をする作業時間を短縮することができた。また、本町だけでなく、近隣の自治体や類似自治体との比較もすることができる点がとても良かった。